

名古屋市感染症発生動向調査情報

名古屋市感染症情報センター(名古屋市衛生研究所疫学情報部)

2020年(令和2年)8月5日作成

<http://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/15-7-3-3-0-0-0-0-0-0.html>

◆新型コロナウイルス感染症について

- 新型コロナウイルスの感染者が急増しており、8月4日現在までに、名古屋市内では1370人の感染者(再陽性患者件数を含む)が確認され、前週(7月28日現在)から644人増加しました。特に20歳代、30歳代で多く報告されています。
- 新型コロナウイルスの感染拡大を受け、令和2年8月、愛知県より栄・錦地区の飲食店などに対し、営業時間の短縮・休業の要請が出されました。
- 引き続き新型コロナウイルス感染拡大の防止にご協力くださいますようお願いいたします。新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐために、感染防止の3つの基本である、1. 身体的距離の確保、2. マスクの着用、3. 手洗いや、「3密(密集、密接、密閉)」を避ける等の「新しい生活様式」が求められています。暑さを避け、水分を摂るなどの「熱中症予防」と、マスク、換気などの「新しい生活様式」を両立させましょう。
- 市民の皆様におかれては、風邪や季節性インフルエンザ対策と同様にお一人お一人の咳エチケットや手洗いなどの実施がとて重要で、感染症対策に努めていただくようお願いいたします。
- 集団感染の共通点は、特に、「換気が悪く」、「人が密に集まって過ごすような空間」、「不特定多数の人が接触するおそれが高い場所」です。換気が悪く、人が密に集まって過ごすような空間に集団で集まることを避けてください。
- 次の症状がある方は下記を目安に、「帰国者・接触者相談センター」にご相談ください。○少なくとも以下のいずれかに該当する場合には、すぐに御相談ください。(これらに該当しない場合の相談も可能です。)
 - 息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ(倦怠感)、高熱等の強い症状のいずれかがある場合
 - 重症化しやすい方(※)で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合
(※)高齢者、糖尿病、心不全、呼吸器疾患(COPD等)等の基礎疾患がある方や透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方
 - 上記以外の方で発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が続く場合
(症状が4日以上続く場合は必ずご相談ください。症状には個人差がありますので、強い症状と思う場合にはすぐに相談してください。解熱剤などを飲み続けなければならない方も同様です。)

- センターでご相談の結果、新型コロナウイルス感染の疑いのある場合には、専門の「帰国者・接触者外来」をご紹介します。マスクを着用し、公共交通機関の利用を避けて受診してください。
- 本市で設置している「帰国者・接触者相談センター」については、下記の本市公式ウェブサイトをご覧ください。
帰国者・接触者相談センター一覧（名古屋市）
<http://www.city.nagoya.jp/kenkofukushi/page/0000125533.html>
- 新型コロナウイルス感染症の詳細な情報については下記リンク等をご覧ください。
新型コロナウイルス感染症について（厚生労働省）
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html
新型コロナウイルスに関連する肺炎について（名古屋市）
<http://www.city.nagoya.jp/kenkofukushi/page/0000124556.html>

〔新型コロナウイルスの集団発生防止にご協力をお願いします〕

新型コロナウイルスへの対策として、クラスター（集団）の発生を防止することが重要です。日頃の生活の中で3つの「密」が重ならないように工夫しましょう。



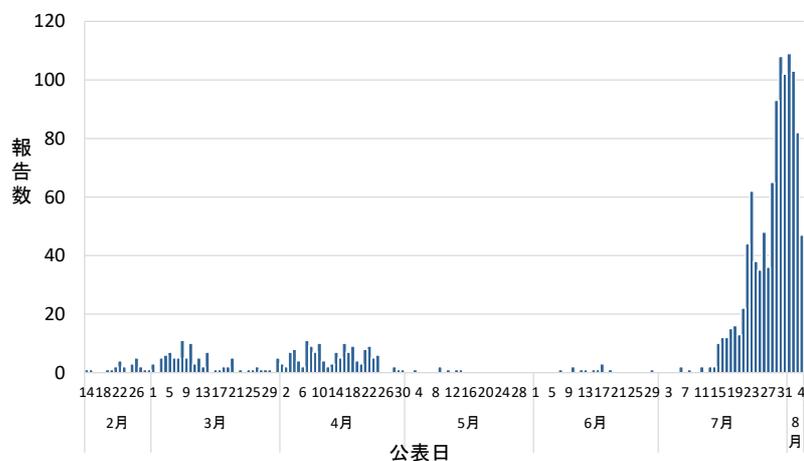
（出典：厚生労働省 HP、首相官邸 HP より）

〔名古屋市及び愛知県における新型コロナウイルス感染症患者の発生状況：8月4日現在〕
8月4日現在、名古屋市内では **1370人**の感染者（再陽性患者件数を含む）が確認されています。感染者情報の詳細については下記リンクより記者発表資料をご覧ください。

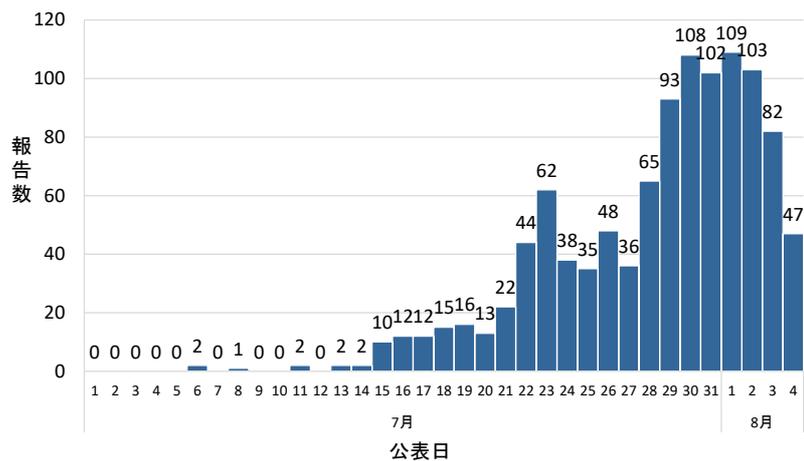
- 市内の新型コロナウイルス発生状況（名古屋市）
<http://www.city.nagoya.jp/kenkofukushi/page/0000126920.html>
- 愛知県新型コロナウイルス感染症対策サイト（愛知県）
<https://www.pref.aichi.jp/site/covid19-aichi/>

〔名古屋市における新型コロナウイルス感染症報告数①（8月4日現在）〕

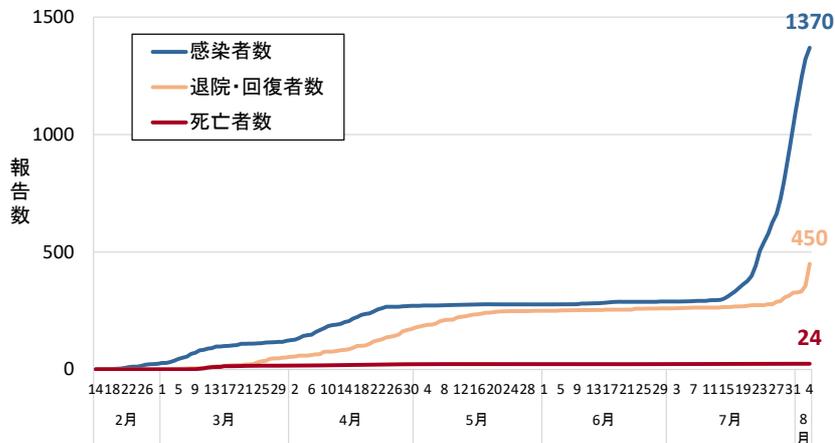
新型コロナウイルス感染者数(名古屋市 n=1370)



新型コロナウイルス感染者数(名古屋市:7/1~8/4)



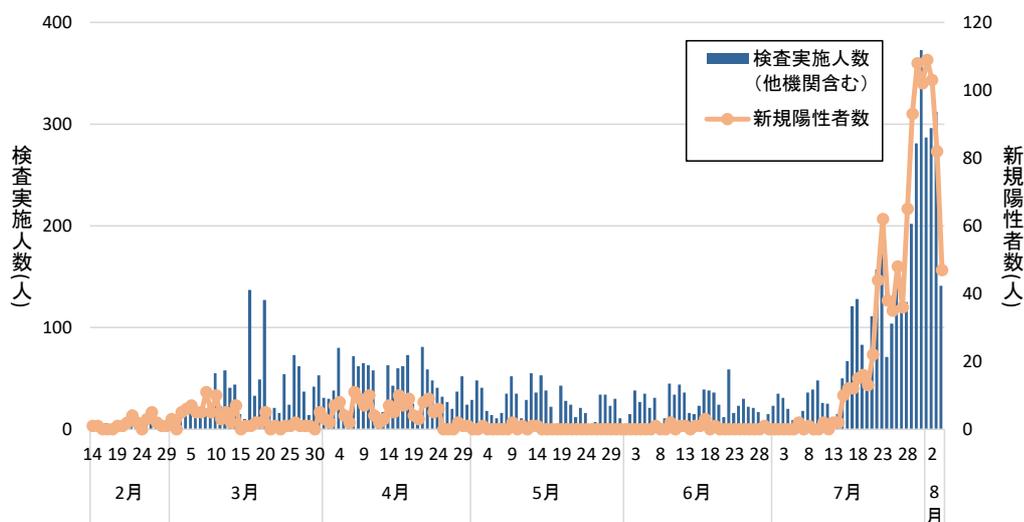
感染者数、退院・回復者数、死亡者数の累計(名古屋市)



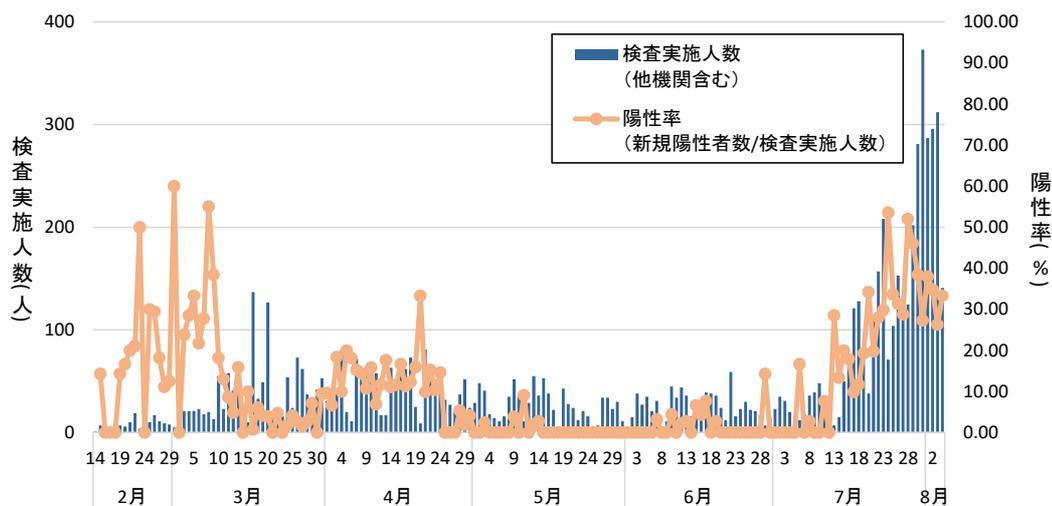
〔名古屋市における新型コロナウイルス感染症報告数②（8月4日現在）〕

掲載データは、本市公式ウェブサイト「市内の新型コロナウイルス発生状況」の「名古屋市の陽性患者・検査実施人数データ（2020年8月4日時点）」を使用しています。検査実施人数は、本市の疑い患者としてPCR検査を行ったものを掲載しており、名古屋市衛生研究所、名古屋市PCR検査所での実施数のほか、発表時点で本市が把握している他機関の検査数も含まれます。（陽性患者の陰性化確認のための検査は除く。）掲載している数値については速報値であり、後日修正されることがあります。

検査実施人数と新規陽性者数(名古屋市)



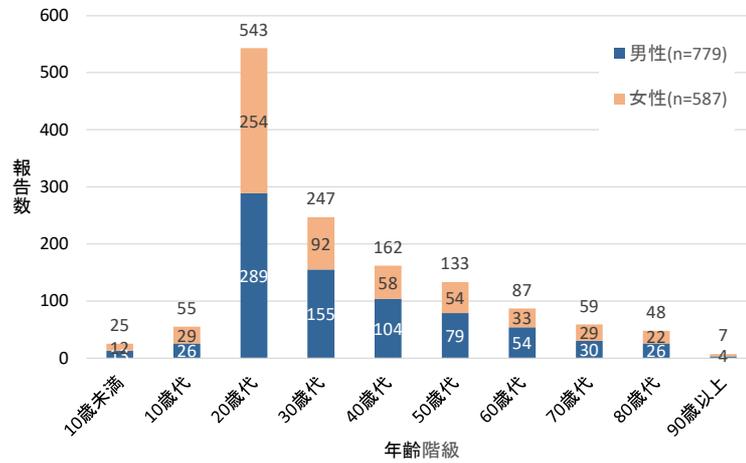
検査実施人数と陽性率(名古屋市)



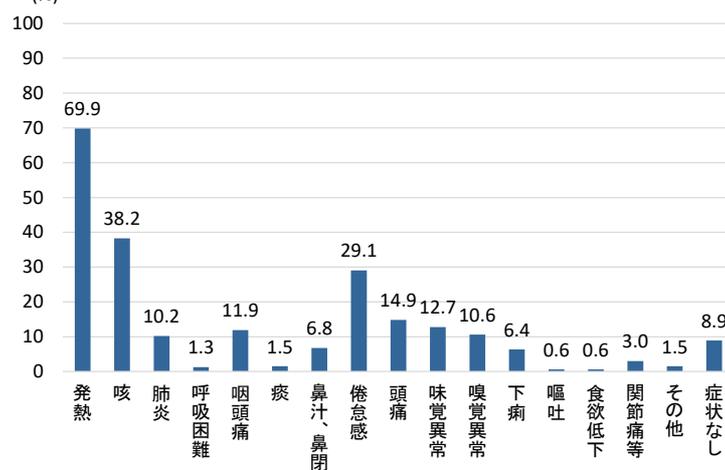
〔名古屋市における新型コロナウイルス感染症報告数③（8月4日現在）〕

本市記者発表資料より集計。年齢非公表及び調査中の患者を除く。

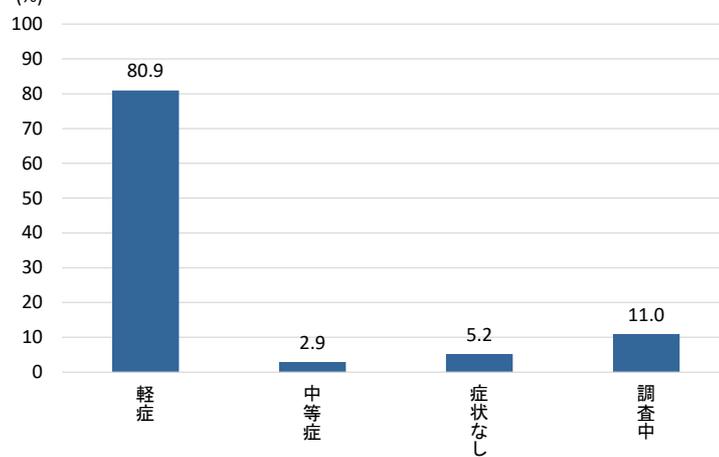
性別・年齢階級別報告数(名古屋市)



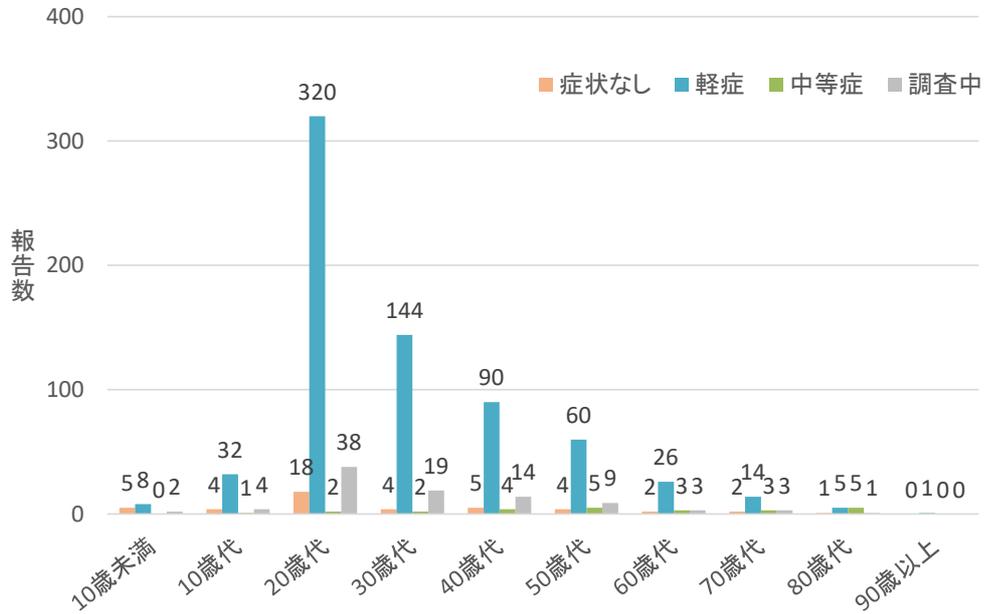
症状の割合(2/14~7/23公表分)(重複計上)



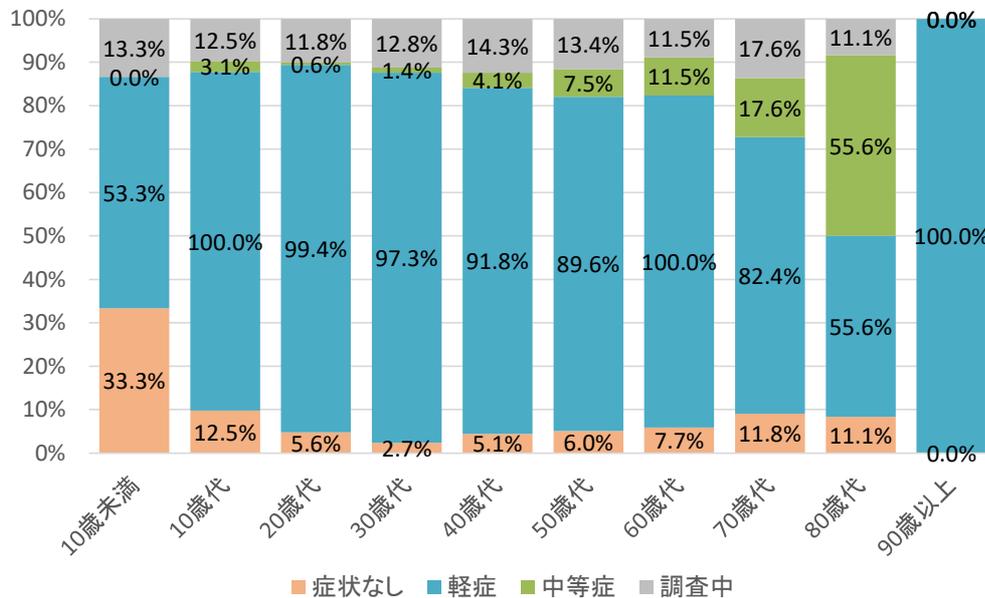
重症度の割合(7/24~8/4公表分)



重症度・年齢階級別感染者数(7/24~8/4公表分)



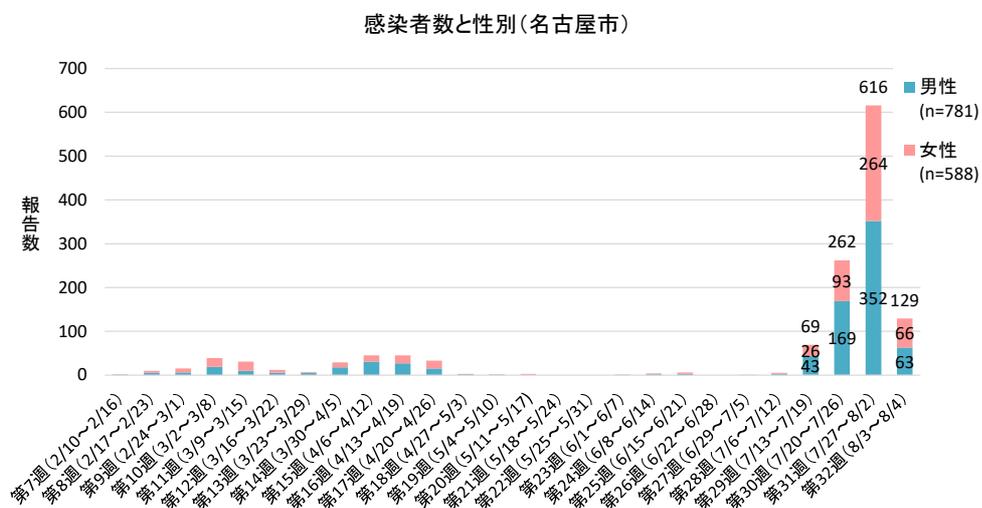
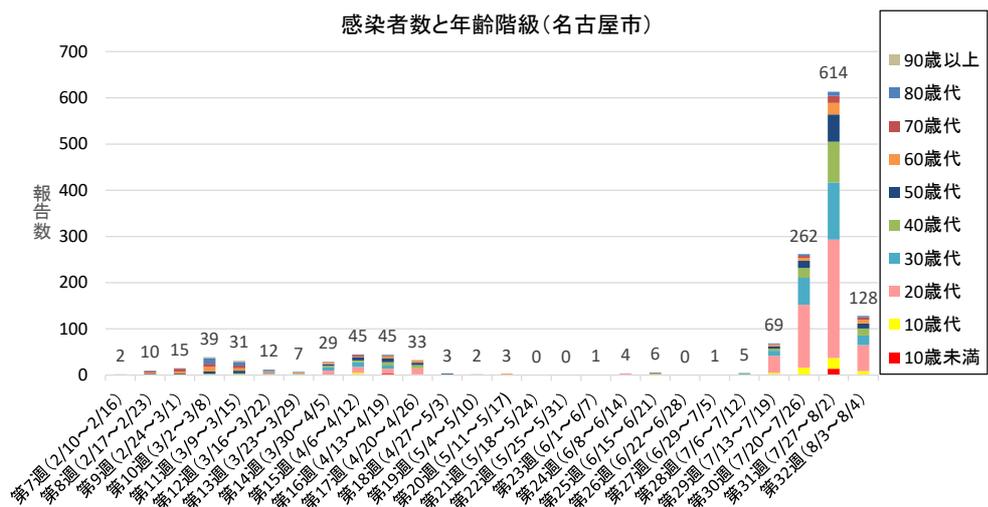
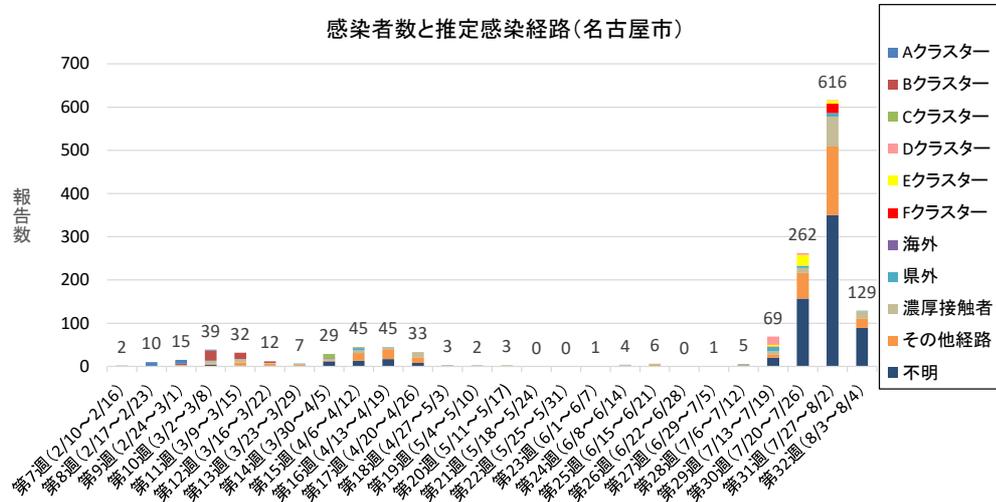
重症度・年齢階級別の割合(7/24~8/4公表分)



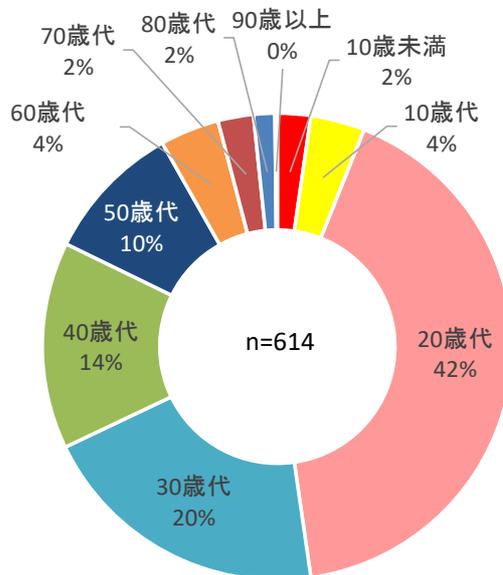
(患者の重症度は公表時時点)

〔名古屋市における新型コロナウイルス感染症報告数④（8月4日現在）〕

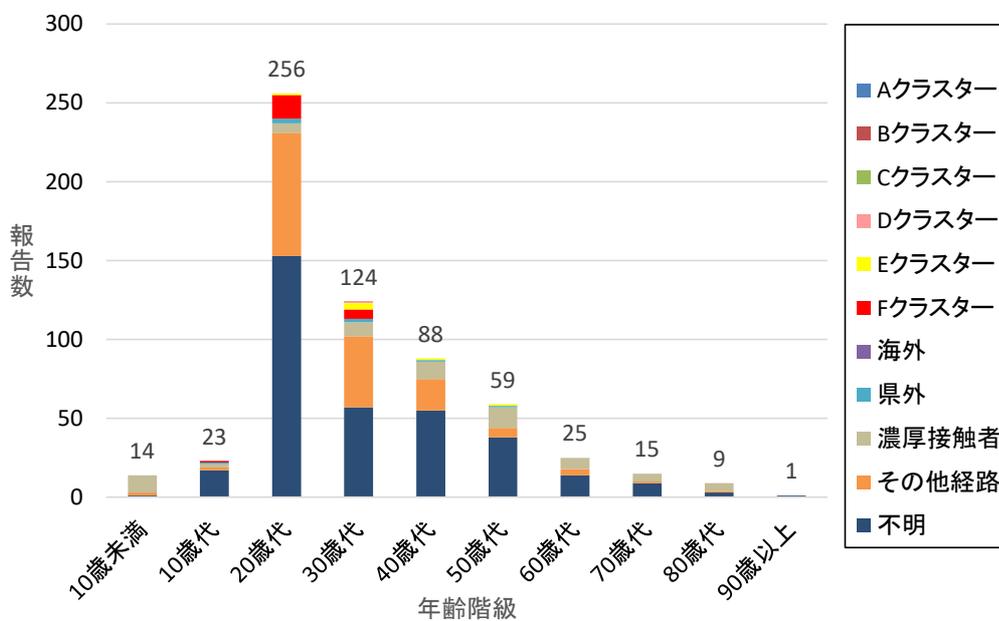
推定感染経路は本市記者発表資料等を参考に当所にて推定したものの。報告数は公表日の患者数を集計。年齢階級は非公表及び調査中の患者を除く。なお、その後の訂正などにより変更される場合があります。



年齢階級別感染者数の割合 (第31週: 7/27~8/2)



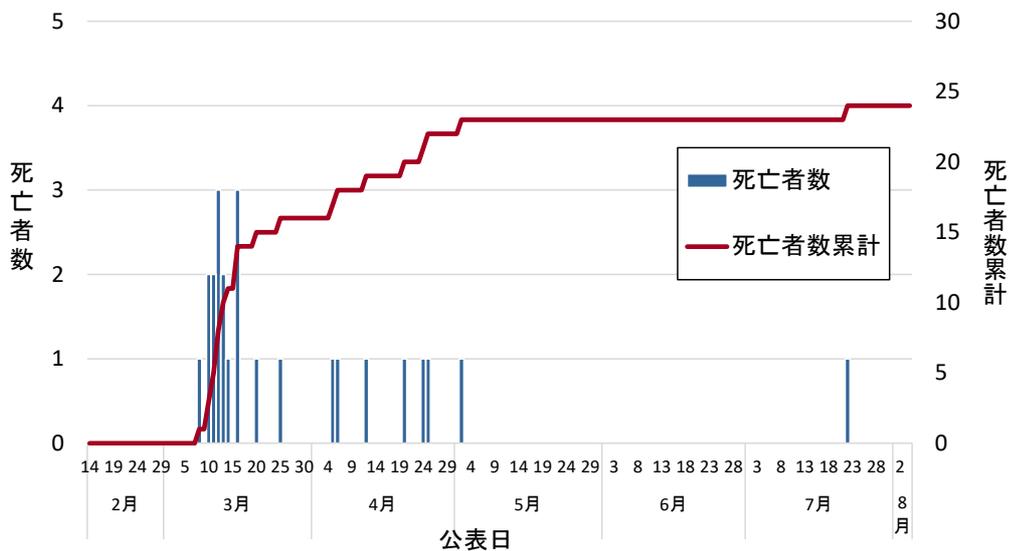
年齢階級と推定感染経路 (第31週: 7/27~8/2 n=614)



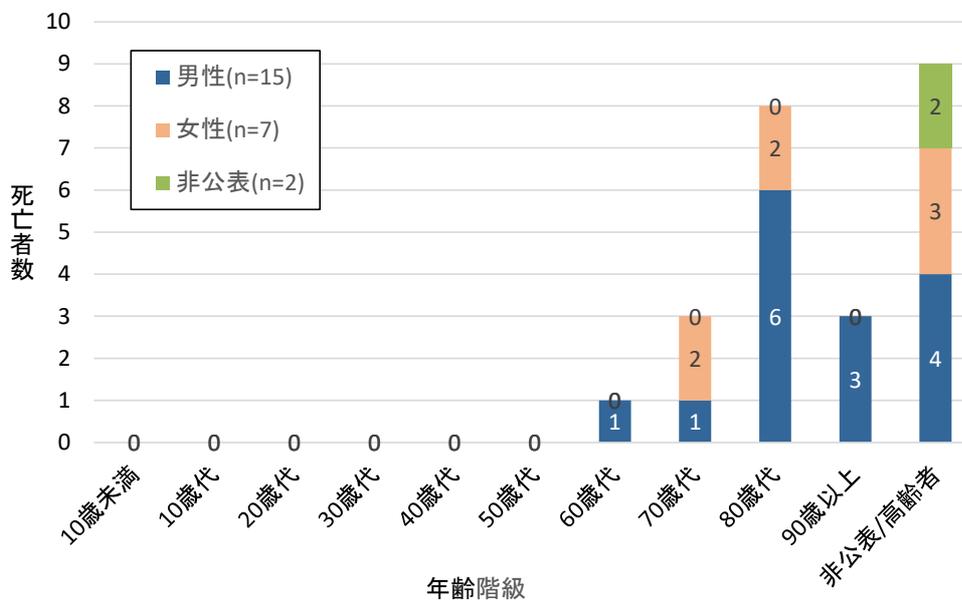
〔名古屋市における新型コロナウイルスに関連した死亡者（8月4日現在）〕

8月4日現在、新型コロナウイルスに関連した死亡者は名古屋市内24人となっています。

新型コロナウイルス死亡者数(名古屋市 n=24)



性別・年齢階級別死亡者数(名古屋市)



◆本市の状況

〔定点把握感染症の発生動向〕

- 特記することなし。

〔1類～5類全数把握感染症の届出〕

診断週	感染症の分類	疾患	発生数	発生の概要
2020年 第31週	2類	結核	6	<ul style="list-style-type: none"> • 女性、83歳、肺結核 • 男性、61歳、肺結核 • 女性、33歳、肺結核 • 男性、83歳、肺結核 • 男性、0歳、無症状病原体保有者 • 女性、54歳、無症状病原体保有者
2020年 第31週	指定	新型コロナウイルス感染症	650	• 下に別記載
2020年 第31週	3類	腸管出血性大腸菌感染症	1	• 女性、48歳、感染地域：不明、血清型・毒性型：O157VT型不明
2020年 第31週	4類	E型肝炎	1	• 男性、58歳、感染地域：国内
2020年 第31週	4類	レジオネラ症	2	<ul style="list-style-type: none"> • 男性、46歳、肺炎型、感染地域：名古屋市 • 男性、65歳、肺炎型、感染地域：名古屋市
2020年 第31週	5類	後天性免疫不全症候群	1	• 男性、42歳、無症状病原体保有者、感染経路：同性間性的接触、感染地域：国内
2020年 第31週	5類	侵襲性肺炎球菌感染症	1	• 男性、79歳、菌検出検体：血液
2020年 第31週	5類	水痘（入院例）	1	• 男性、75歳、検査診断例
2020年 第31週	5類	梅毒	1	• 男性、47歳、早期顕症梅毒2期

※ 感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを表示。

（報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります）

〔新型コロナウイルス感染症〕

重症度 (縦) 年代 (横)	10	20	30	40	50	60	70	80	90	10歳 未満	調査中	総計
症状なし	1	13	3	4	3	1	1	0	0	5	0	31
軽症	18	230	105	72	45	20	10	4	1	7	1	513
中等症	1	2	2	4	5	2	2	5	0	0	0	23
調査中	3	33	16	12	8	3	3	1	0	2	2	83
総計	23	278	126	92	61	26	16	10	1	14	3	650

報告日が遅れたため先週号までに掲載されなかった 1 類から 5 類全数報告感染症。

診断週	感染症 の分類	疾患	発生数	発生の概要
2020 年 第 30 週	3 類	腸管出血性大腸菌 感染症	1	・女性、59 歳、感染地域：不明、血清型・毒性型： O136 VT2
2020 年 第 30 週	5 類	急性脳炎	1	・男性、10 歳、病原体：Enterococcus faecalis

※ 感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを表示。

〔2020 年 1 類～5 類全数把握感染症の届出報告数の累計〕

感染症の分類	疾患	累計
1 類感染症	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、他	0
2 類感染症	急性灰白髄炎	0
2 類感染症	結核（潜在性結核感染症を含む）	283 (61) [0] [0] [1]
2 類感染症	ジフテリア	0
2 類感染症	重症急性呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属 SARS コロナウイルスであるものに限る）	0
2 類感染症	中東呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属 MERS コロ ナウイルスであるものに限る）	0
2 類感染症	鳥インフルエンザ（H5N1）	0
2 類感染症	鳥インフルエンザ（H7N9）	0

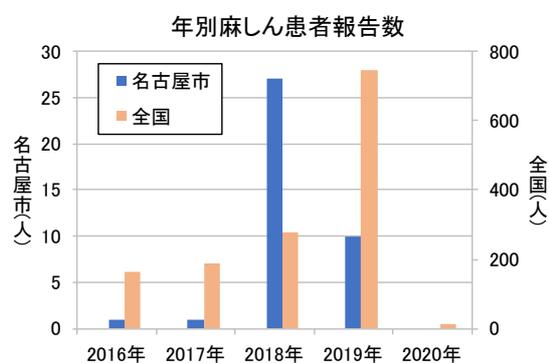
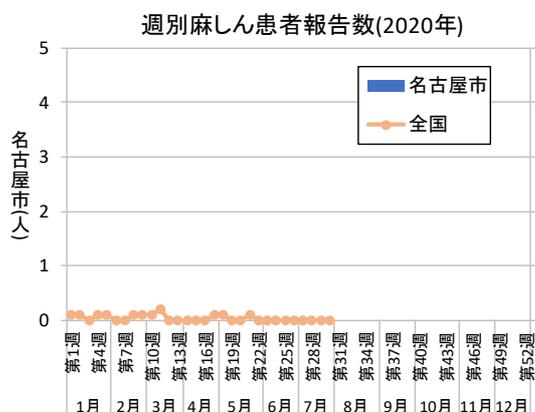
NIDWR Nagoya Infectious Diseases Weekly Report

指定感染症	新型コロナウイルス感染症（病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス（令和2年1月に、中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。）であるものに限る。）	1272
3 類感染症	コレラ	0
3 類感染症	細菌性赤痢	0
3 類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	20
3 類感染症	腸チフス	0
3 類感染症	パラチフス	0
4 類感染症	デング熱	3
4 類感染症	A 型肝炎	2
4 類感染症	E 型肝炎	2
4 類感染症	レジオネラ症	14
5 類感染症	アメーバ赤痢	12
5 類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	25
5 類感染症	急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く）	6
5 類感染症	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	14
5 類感染症	後天性免疫不全症候群	34 (31)
5 類感染症	シアルジア症	1
5 類感染症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	11
5 類感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	1
5 類感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	31
5 類感染症	水痘（入院例に限る）	5
5 類感染症	梅毒	94 (32)
5 類感染症	播種性クリプトコックス症	1
5 類感染症	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1
5 類感染症	百日咳	45
5 類感染症	風しん	7
5 類感染症	ウイルス性肝炎	3

累計は 2020 年第 1 週からの診断週による累計、() 内は無症状病原体保有者累計数を再掲、[] 内は疑似症累計数を再掲、【 】内は感染症死亡者の死体累計数を再掲、〔 〕内は感染症死亡疑い者の死体累計数を再掲、〈 〉内は後天性免疫不全症候群の「その他」累計数を再掲。対象疾患が多いため、4 類及び 5 類感染症は報告のあった疾患のみを掲載。

（報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります）

〔名古屋市の麻しん報告数：2020年8月5日作成〕



週別麻しん患者報告数(2020年)

名古屋市	第1週	第4週	第7週	第10週	第13週	第16週	第19週	第22週	第25週	第28週	第31週	第34週	第37週	第40週	第43週	第46週	第49週	第52週	第31週(8月2日)までの合計(人)
																			0

表は患者報告のあった週のみ掲載し、報告が0人の週については省略

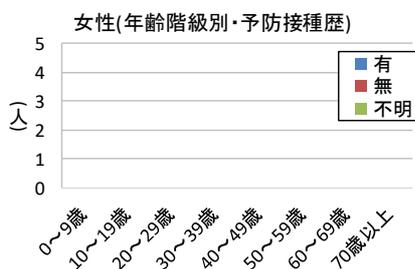
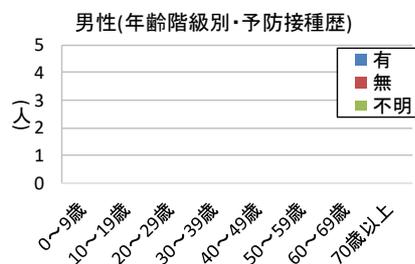
年別麻しん患者報告数

麻しん	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
名古屋市	75	11	6	19	5	1	20	0	1	1	27	10	0※1
愛知県	197	29	32	32	39	25	46	0	5	1	37	41	2※2
全国	11013	732	447	439	283	229	462	35	165	186	279	744※3	12※2

※1 第31週(8月2日)まで ※2 第30週(7月26日)まで ※3 報告数は速報値

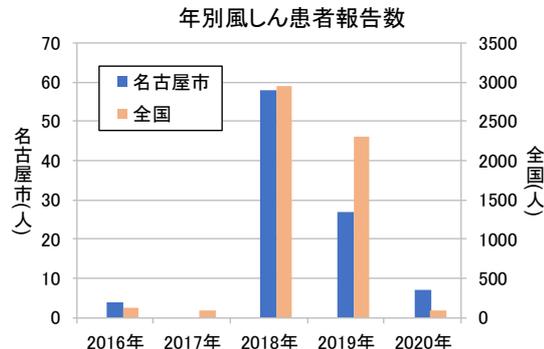
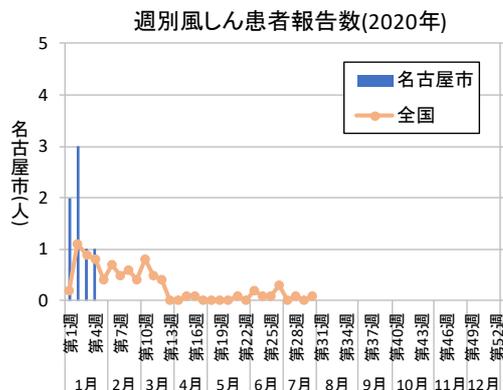
麻しん患者の性別・年齢階級別・予防接種歴(2020年名古屋市)

		予防接種歴			
		有	無	不明	総計(人)
男性	0~9歳				0
	10~19歳				0
	20~29歳				0
	30~39歳				0
	40~49歳				0
	50~59歳				0
	60~69歳				0
	70歳以上				0
計(人)				0	
女性	0~9歳				0
	10~19歳				0
	20~29歳				0
	30~39歳				0
	40~49歳				0
	50~59歳				0
	60~69歳				0
	70歳以上				0
計(人)		0	0	0	
総計(人)		0	0	0	



(報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります)

〔名古屋市の風しん報告数：2020年8月5日作成〕



週別風しん患者報告数(2020年)

名古屋市	第1週 (12/30~ 1/5)	第2週 (1/6~ 1/12)	第3週 (1/13~ 1/19)	第4週 (1/20~ 1/26)	第5週	第6週	第7週	第8週	第9週	第10週	第11週	第12週	第31週(8月2日)までの合計(人)
	2	3	1	1									7

表は患者報告のあった週のみ掲載し、報告が0人の週については省略

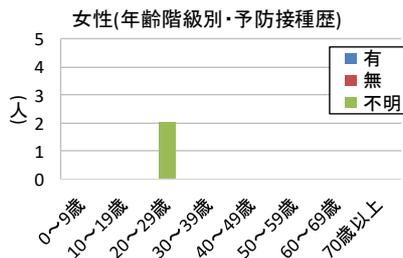
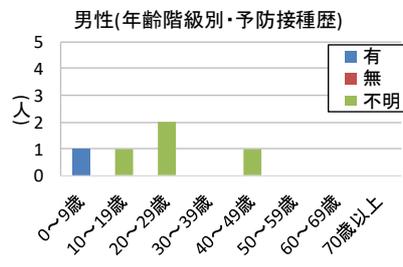
年別風しん患者報告数

風しん	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
名古屋市	1	1	0	7	38	191	7	2	4	0	58	27	7※1
愛知県	3	10	3	13	97	375	22	13	20	3	118	59	7※2
全国	303	147	87	378	2386	14344	319	163	126	91	2946	2306※3	85※2

※1 第31週(8月2日)まで ※2 第30週(7月26日)まで ※3 報告数は速報値

風しん患者の性別・年齢階級別・予防接種歴(2020年名古屋市)

	年齢階級	予防接種歴			総計(人)
		有	無	不明	
男性	0~9歳		1		1
	10~19歳			1	1
	20~29歳			2	2
	30~39歳				0
	40~49歳			1	1
	50~59歳				0
	60~69歳				0
	70歳以上				0
	計(人)	1	0	4	5
女性	0~9歳				0
	10~19歳				0
	20~29歳			2	2
	30~39歳				0
	40~49歳				0
	50~59歳				0
	60~69歳				0
	70歳以上				0
	計(人)	0	0	2	2
	総計(人)	1	0	6	7



風しん患者情報(2020年名古屋市)

No	診断年月日	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	2020.1.4	20歳代	男	不明	国内(愛知県 名古屋市)
2	2020.1.5	20歳代	男	不明	国内(愛知県 名古屋市)
3	2020.1.8	20歳代	女	不明	国内(愛知県 名古屋市)
4	2020.1.9	5歳	男	有	国内(愛知県)
5	2020.1.11	10歳代	男	不明	国内(愛知県 名古屋市)
6	2020.1.14	20歳代	女	不明	国内(愛知県 名古屋市)
7	2020.1.23	40歳代	男	不明	国内(愛知県 名古屋市)

(報告数はその後の訂正などにより、変更される場合があります)

〔愛知県麻疹・風しん患者調査事業について〕

平成 20 年 1 月 1 日から、麻疹・風しんは全数把握対象疾患となりましたが、愛知県内では、感染症法に基づく届出では把握できない情報を得るため、医師会と協力して「愛知県麻疹・風しん患者調査事業」を実施しており、名古屋市も参加しています。調査結果については下記のリンク先（愛知県衛生研究所ホームページの中のコンテンツ <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/msl/msl.html>）をご覧ください。

〔定点医療機関からの情報〕

定点医療機関からは検査結果や患者発生状況等がコメント情報として報告されています。定点医療機関から報告されたコメント情報は下記のとおりです。なお、コメント情報のなかった定点医療機関については掲載しておりません。

カンピロバクター 1 歳女児 1 名	定点医療機関（千種区）
感染性胃腸炎の 3 名は、全てカンピロバクターです。	定点医療機関（千種区）

◆2020年第31週 患者報告数（疾病別）、定点あたり患者報告数（疾病別）、年齢階層別患者報告数（疾病別）

患者報告数（名古屋市）

2020年第31週（2020年7月27日～8月2日）

疾患 \ 区	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	計	前週比	過去比*
★インフルエンザ																	0		0.0
○RSウイルス感染症																	0		0.0
○咽頭結膜熱	2			4						2							8	1.3	0.4
○A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4			1						1	2	2	2				12	0.5	0.2
○感染性胃腸炎	10	6	11	15	13	1	7		1	9	11	4	8	7		8	111	1.2	0.7
○水痘	1									1							2	2.0	0.1
○手足口病		1								1		1					3	0.5	0.0
○伝染性紅斑													1				1		0.1
○突発性発疹	1			4						3		2	3	4		1	18	1.2	1.0
○ヘルパンギーナ				1						2		1	1				5	0.5	0.1
○流行性耳下腺炎				1													1		0.2
△急性出血性結膜炎																	0		
△流行性角結膜炎																	0		0.0
◇細菌性髄膜炎																	0		
◇無菌性髄膜炎																	0		
◇マイコプラズマ肺炎																	0		
◇クラミジア肺炎																	0		0.0
◇感染性胃腸炎（ロタウイルスに限る）																	0		
計	18	7	11	26	13	1	7	0	1	19	13	10	15	11	0	9	161		

*過去3年の同週の平均値との比

★インフルエンザ定点数	5	4	5	4	5	4	5	5	4	4	4	4	5	4	4	4	70		
○小児科定点数	5	4	5	4	5	4	5	5	4	4	4	4	5	4	4	4	70		
△眼科定点数	1		1	1	1		1	1	1			1		1	1	1	11		
◇基幹定点数			1				1			1							3		

★○△◇は定点種別を示す。

のセルは、該当疾病の定点医療機関のない区を示す。

定点あたり患者報告数、および流行警報・注意報発生状況（名古屋市）

2020年第31週（2020年7月27日～8月2日）

疾患 \ 区	千種	東	北	西	中村	中	昭和	瑞穂	熱田	中川	港	南	守山	緑	名東	天白	平均
インフルエンザ																	
RSウイルス感染症																	
咽頭結膜熱	0.4			1.0							0.5						0.1
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.8			0.3						0.3	0.5	0.5	0.4				0.2
感染性胃腸炎	2.0	1.5	2.2	3.8	2.6	0.3	1.4		0.3	2.3	2.8	1.0	1.6	1.8		2.0	1.6
水痘	0.2									0.3							0.0
手足口病		0.3								0.3			0.3				0.0
伝染性紅斑															0.2		0.0
突発性発疹	0.2			1.0						0.8		0.5	0.6	1.0		0.3	0.3
ヘルパンギーナ				0.3						0.5		0.3	0.2				0.1
流行性耳下腺炎				0.3													0.0
急性出血性結膜炎																	
流行性角結膜炎																	

警報対象疾患	流行発生警報		流行発生注意報
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

流行警報・注意報について

■ **太字の数字** は流行発生警報

■ **斜体の数字** は流行発生注意報

■ 警報及び注意報の発生は、厚生労働省の感染症発生動向調査における警報発生システムの基準値（左表）に準拠しています。なお基準値は、変更される場合や当センターの判断で、独自の設定に変更する場合があります。

■ この警報及び注意報は、感染症発生動向調査に関わる専門家の対策立案を支援するためのものです。詳しい目的、利用法等については当情報センターにご連絡ください。

NIDWR Nagoya Infectious Diseases Weekly Report

年齢階層別患者報告数(名古屋市)

2020年第31週(2020年7月27日~8月2日)

疾患 \ 年齢階層	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上	
インフルエンザ																					

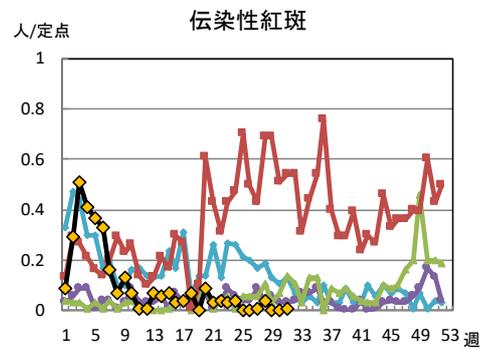
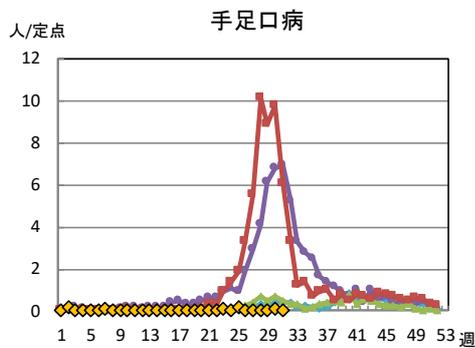
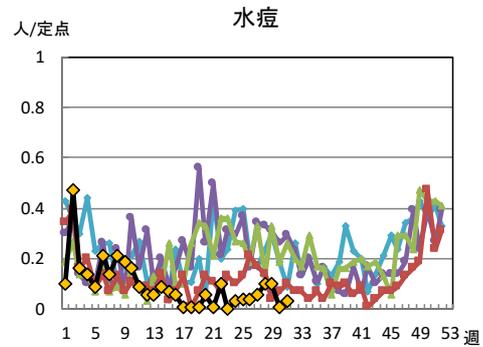
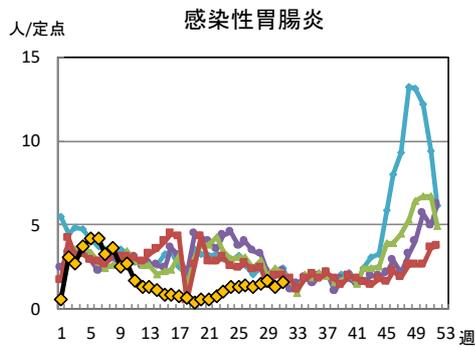
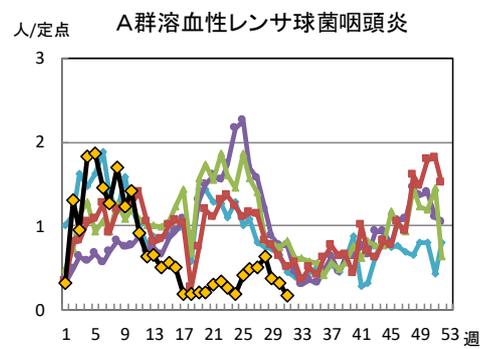
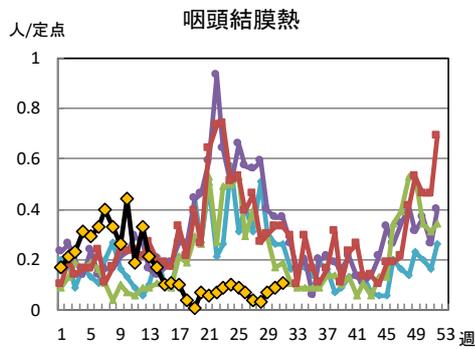
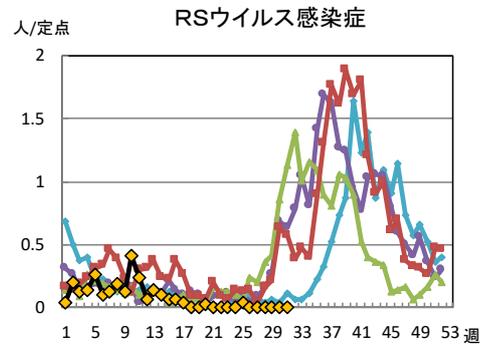
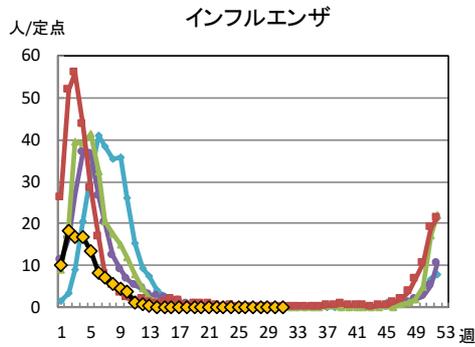
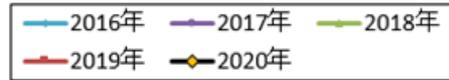
疾患 / 年齢階層	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20歳以上
RSウイルス感染症														
咽頭結膜熱		1	4	1	2									
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			2	2	1		3	1	1			1	1	
感染性胃腸炎	1	2	6	11	7	3	5	5	5	6	5	11	4	40
水痘							2							
手足口病			2		1									
伝染性紅斑					1									
突発性発しん		4	9	1	4									
ヘルパンギーナ		2	1	1		1								
流行性耳下腺炎								1						

疾患 / 年齢階層	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	
急性出血性結膜炎																				
流行性角結膜炎																				

疾患 / 年齢階層	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上
細菌性髄膜炎																
無菌性髄膜炎																
マイコプラズマ肺炎																
クラミジア肺炎																
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)																

NIDWR Nagoya Infectious Diseases Weekly Report

◆小児科・インフルエンザ・眼科定点医療機関からの
 定点あたり患者報告数の推移グラフ(1) 2020年第31週まで



◆小児科・インフルエンザ・眼科定点医療機関からの
 定点あたり患者報告数の推移グラフ(2) 2020年第31週まで

